



平成25年3月期第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



平成25年2月4日
上場取引所 東

上場会社名 コーエーテックモホールディングス株式会社
 コード番号 3635 URL <http://www.koeitec.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 襟川 陽一
 問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員CFO (氏名) 浅野 健二郎 TEL 045-562-8111
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	22,206	6.5	2,494	38.3	4,020	133.7	2,612	291.7
24年3月期第3四半期	20,860	7.1	1,803	—	1,720	—	666	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 6,222百万円 (-%) 24年3月期第3四半期 Δ4,419百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	30.12	30.10
24年3月期第3四半期	7.69	7.69

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	81,955	75,173	91.7	866.12
24年3月期	80,746	70,414	87.2	811.56

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 75,121百万円 24年3月期 70,375百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	27.00	27.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	29.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	9.8	7,000	21.6	8,300	11.1	5,000	7.7	57.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー 除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	89,769,479株	24年3月期	89,769,479株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	3,036,651株	24年3月期	3,053,781株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	86,717,095株	24年3月期3Q	86,716,844株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、底堅さがみられるものの、依然として厳しい状況が続いています。わが国経済につきましても低調な動きとなっておりますが、生産活動など一部に下げ止まりの兆しがみられます。

ゲーム業界におきましては、国内家庭用ゲーム市場規模がほぼ前年並みで推移いたしました。ハード市場では、12月に任天堂株式会社の新型ゲーム機「Wii U」が発売され、大きな注目を集めました。ニンテンドー3DSについても、国内累計販売台数が1,000万台を突破するなど、販売を伸ばしております。ソーシャルゲーム市場は、引き続き拡大傾向にあり、2012年度の市場規模が国内家庭用ゲームソフト市場を上回る見込みです。さらなる市場拡大に向け、プラットフォームの多様化に対応する動きが加速しています。

このような経営環境下において、当社では当期の経営方針「さらなる成長性と収益性の実現」のもと、各種施策に取り組んでおります。ローンチタイトルのリリースやコラボレーションビジネスの拡充を図ったほか、経費削減の取り組みを一層推進したことにより、収益力も向上いたしました。また為替相場も好転したことから、有価証券関係損益が大幅に改善しております。これらにより、当社グループの当第3四半期業績は、売上高222億6百万円（前年同四半期比6.5%増）、営業利益24億94百万円（同38.3%増）、経常利益40億20百万円（同133.7%増）、四半期純利益26億12百万円（同291.7%増）となり、いずれも第3四半期連結累計期間としては、経営統合以来、最高の業績となりました。

セグメントの状況につきましては以下のとおりです。

ゲームソフト事業 売上高 146億86百万円 セグメント利益 25億15百万円

「Wii U」のローンチタイトルとして、「無双OROCHI 2 Hyper」、「NINJA GAIDEN 3: Razor's Edge」、「三國志12」の3作を発売いたしました。当社グループは、今後も新ハードへ積極的にタイトルを投入してまいります。また、大ヒットを記録したコラボレーションタイトルの続編「真・北斗無双」（PS3、Xbox360用）を発売したほか、「真・三國無双6 Empires」（PS3用）をリリースし人気を博しております。ガストタイトルでは、「トトリのアトリエPlus ～アールランドの錬金術士2～」(PSVita用)の販売が好調に推移いたしました。

新作タイトルに加え、既発売タイトルのリピート販売やダウンロードコンテンツ売上も伸長したことなどから、増収増益を達成しております。

オンライン・モバイル事業 売上高 38億12百万円 セグメント利益 4億18百万円

ソーシャルゲーム事業においては、「100万人のWinning Post Special」、「100万人の三國志 Special」の2タイトルを「Yahoo! Mobage」においてもサービスインするなど、マルチデバイス対応を積極的に展開いたしました。「100万人の信長の野望」をはじめとする「100万人」シリーズは、各タイトルとも安定した売上を続けております。海外では、台湾・香港・マカオにて「100万人の三國志 Special」のサービスを開始いたしました。これらの結果、ソーシャルゲームの累計会員数は、国内外を合わせて880万人を突破しております。

オンラインゲーム事業においては、「真・三國無双Online ～龍神乱舞～ 5周年記念パック」を発売したほか、各タイトルとも順調に推移いたしました。

メディア・ライツ事業 売上高 10億52百万円 セグメント損失 98百万円

イベント事業においては、ゲーム内の人気キャラクターにフォーカスした「ネオロマンス・フェスタ 金色のコルダFeaturing神南高校」をはじめ、3つのイベントを開催し、多くのお客様にお楽しみいただきました。ソーシャルゲーム事業においては、「100万人の金色のコルダ」のiOS版をリリースし、好調に推移しております。

なお、第4四半期に発売を予定しているタイトルの開発費が先行しており、セグメント損失が発生しております。

SP事業 売上高 15億34百万円 セグメント利益 4億39百万円

パチンコ機「CR NINJA GAIDEN 2」の別スペックが2機種リリースとなりました。液晶ソフト受託開発の進捗が順調に推移し、パチンコ・パチスロ機への著作権許諾を積極的に実施したことにより、大幅な増収増益を達成しております。

アミューズメント施設運営事業 売上高 14億45百万円 セグメント利益 1億円

年末年始商戦に向け、販促活動やゲーム機導入をタイムリーに実施したことにより、既存店売上高については底堅い動きとなりました。引き続き業務効率の向上や収益性改善に繋がる施策を講じてまいります。

その他事業 売上高 1億65百万円 セグメント利益 26百万円

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産の部

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して12億8百万円増加し819億55百万円となりました。これは主に、投資有価証券が65億58百万円増加した一方で、売上債権の回収等により売掛金が53億16百万円減少したことによるものであります。

②負債の部

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して35億50百万円減少し67億82百万円となりました。これは主に、買掛金が13億62百万円、未払法人税等が5億86百万円それぞれ減少したことによるものであります。

③純資産の部

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して47億59百万円増加し751億73百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が33億6百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月7日に公表した通期の連結業績予想は変更しておりません。今後、業績予想数値に修正が生じる場合は速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,742	6,114
受取手形及び売掛金	11,750	6,434
有価証券	3,930	6,714
商品及び製品	213	182
仕掛品	316	453
原材料及び貯蔵品	98	92
繰延税金資産	528	626
その他	2,451	1,436
貸倒引当金	△196	△22
流動資産合計	25,836	22,033
固定資産		
有形固定資産	14,387	14,136
無形固定資産		
のれん	3,738	2,684
その他	573	433
無形固定資産合計	4,312	3,118
投資その他の資産		
投資有価証券	33,752	40,311
更生債権等	23	6
敷金及び保証金	797	751
繰延税金資産	1,435	1,416
その他	223	187
貸倒引当金	△23	△6
投資その他の資産合計	36,210	42,666
固定資産合計	54,909	59,921
資産合計	80,746	81,955

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,421	1,059
未払金	1,458	1,375
未払法人税等	1,203	616
賞与引当金	683	359
役員賞与引当金	91	30
返品調整引当金	58	38
売上値引引当金	425	565
ポイント引当金	12	13
繰延税金負債	251	2
その他	2,612	1,630
流動負債合計	9,220	5,691
固定負債		
退職給付引当金	560	526
繰延税金負債	19	36
その他	532	526
固定負債合計	1,112	1,090
負債合計	10,332	6,782
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	24,640	25,481
利益剰余金	40,662	40,944
自己株式	△2,368	△2,355
株主資本合計	77,934	79,070
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,877	△571
土地再評価差額金	△3,100	△3,100
為替換算調整勘定	△580	△277
その他の包括利益累計額合計	△7,558	△3,948
新株予約権	38	51
純資産合計	70,414	75,173
負債純資産合計	80,746	81,955

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	20,860	22,206
売上原価	13,759	14,265
売上総利益	7,100	7,940
販売費及び一般管理費	5,297	5,446
営業利益	1,803	2,494
営業外収益		
受取利息	1,419	1,277
投資有価証券売却益	192	358
為替差益	—	79
その他	605	533
営業外収益合計	2,218	2,249
営業外費用		
有価証券評価損	1,514	117
有価証券償還損	511	570
為替差損	249	—
その他	26	34
営業外費用合計	2,301	723
経常利益	1,720	4,020
特別利益		
新株予約権戻入益	73	—
特別利益合計	73	—
特別損失		
買取請求に伴う法定利息	66	—
特別損失合計	66	—
税金等調整前四半期純利益	1,727	4,020
法人税、住民税及び事業税	582	1,093
法人税等調整額	478	315
法人税等合計	1,060	1,408
少数株主損益調整前四半期純利益	666	2,612
四半期純利益	666	2,612

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	666	2,612
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,893	3,306
為替換算調整勘定	△192	303
その他の包括利益合計	△5,085	3,610
四半期包括利益	△4,419	6,222
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,419	6,222

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ゲーム ソフト	オンライ ン・モバ イル	メディア・ ライツ	SP	アミューズ メント 施設運営	計				
売上高										
外部顧客への売上高	13,249	4,094	1,298	688	1,396	20,727	133	20,860	—	20,860
セグメント間の内部売上高又は振替高	127	142	0	14	—	285	41	326	△326	—
計	13,377	4,236	1,299	702	1,396	21,012	174	21,187	△326	20,860
セグメント利益又は損失(△)	1,370	748	△5	238	86	2,439	18	2,457	△654	1,803

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△654百万円は、のれんの償却額△763百万円及び営業外損益への振替額109百万円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

(のれんの金額の重要な変動)

平成23年12月13日に株式会社ガストの全株式を取得し連結子会社としたことから、のれんの金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象による当第3四半期連結会計期間におけるのれんの増加額は、1,936百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ゲーム ソフト	オンライ ン・モバ イル	メディア・ ライツ	SP	アミューズ メント 施設運営	計				
売上高										
外部顧客への売上高	14,355	3,699	1,050	1,532	1,445	22,083	122	22,206	—	22,206
セグメント間の内部売上高又は振替高	331	113	2	2	—	449	43	492	△492	—
計	14,686	3,812	1,052	1,534	1,445	22,532	165	22,698	△492	22,206
セグメント利益又は損失(△)	2,515	418	△98	439	100	3,375	26	3,401	△907	2,494

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△907百万円は、のれんの償却額△1,054百万円及び営業外損益への振替額147百万円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。